

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第三小学校

1. 本年度の学力・学習状況調査結果の概要について

- ・国語の調査では、A問題は全体的に昨年度より上回る良好な結果でした。B問題は記述式の「書く能力」の観点についての問題は良好な結果でしたが、「話す・聞く能力」「読む能力」の観点の問題に課題が残りました。
- ・算数の調査では、A問題、B問題共に昨年度より上回りましたが、若干課題の残る結果となりました。特に「数量や図形についての知識・理解」の問題に課題がありました。一方、「数学的な考え方」の観点についての記述式・短答式の問題の正答率は良好な結果となりました。
- ・国語、算数の両教科において無解答が非常に少なく、最後まであきらめずに取り組んでいました。

2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> ・言語についての知識・理解・技能の観点で漢字を読むことについては、昨年度より33ポイント上回りました。 ・目的に応じて、内容や要旨をとらえながら読む能力については、昨年度より33ポイント上回りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語についての知識・理解・技能の観点で漢字を書くことに課題がありました。 ・書く能力について、表現の工夫、目的や意図に応じて書く事柄を整理する問題に課題がみられました。
国語 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度については、昨年度より約14ポイント上回り、主体的に学習に取り組もうとする様子がみられました。 ・記述式の問題形式については、昨年度より約14ポイント上回り、特にグラフや表を基に自分の考えを書く力に成果がみられました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、質問したいことを整理する問題に課題がみられました。 ・選択式の問題形式については、昨年度より約23ポイント下回りました。このような形式の問題を解く経験が少なく、題意の正確な読み取りに課題がみられました。
算数 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> ・無解答率がとても低く、学習意欲が高いという傾向がみられます。 ・計算の正答率が高く、正確に計算する力がついています。 ・図形の底辺や高さ、立体の面と面の位置関係について理解できています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量関係に課題がみられます。特に百分率(割合)が苦手であるという傾向がみられました。 ・計算は正確にできますが、計算の仕組みの理解に課題がみられました。
算数 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」領域の技能については、昨年度同様、比較的良好な結果でした。 ・数学的な考え方(観点)において、良好な結果が出ています。これは算数の授業で自分の考えを書いて説明する学習活動を多く取り入れる授業の成果が出ていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形に内接する円の半径についての理解など、「図形」領域の知識・理解について課題がみられました。 ・「数と計算」「数量関係」領域で、示された情報を理解し、それらを基に筋道を立てて考え、式の意味を記述することに課題がみられました。

3. 本校の学力向上に関する現在の取組みについて



子ども主体の授業（少人数指導）



基礎基本の学習（音読）



ノート指導



話し合い活動（ペア、グループ）



ICT 機器の活用



読書活動の充実

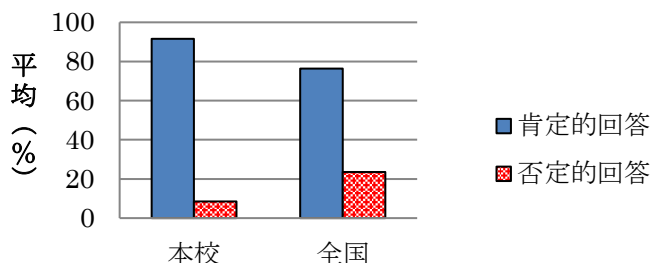
4. 今後の取組みの方向性について

- ・子どもが主体的・対話的に学ぶ授業づくりをめざして、指導方法の研究を進めています。3年生以上の学年では算数の少人数指導を取り入れ、課題に対して自分の考えをノートに書き、発表したり、話し合ったりする子ども主体の授業づくりを推進しています。
- ・基礎・基本の学力の向上のため、国語の時間の最初に音読を取り入れています。また、言語活動の充実を図るため日替わりメニューを取り入れ、曜日によって「スピーチ」や「言葉プリント」などの決まった取組みをしています。
- ・どの子にもわかりやすい授業をめざして、ICT 機器の効果的な活用の研究をしていきます。子どもの学習意欲を高め、学力向上を図ります。

【児童質問紙による学習状況調査結果の概要】

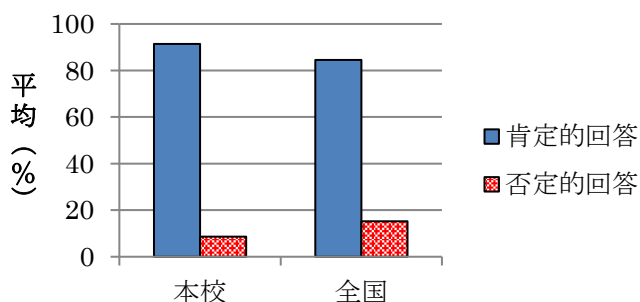
○全国と比較して、本校の児童の特徴として注目した項目について、その状況をお知らせいたします。

【自分にはよいところがある】



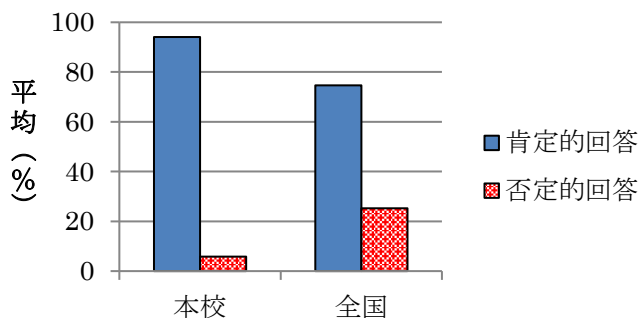
自尊感情が全国に比べて高いという結果が出ています。児童のよいところを見つけ出し、認めてほめていくことが、やる気や意欲につながります。今後も結果だけを見て評価するのではなく、頑張っている過程をしっかりと評価して意欲を高め、更なる学力向上をめざします。

【人が困っているときは進んで助ける】



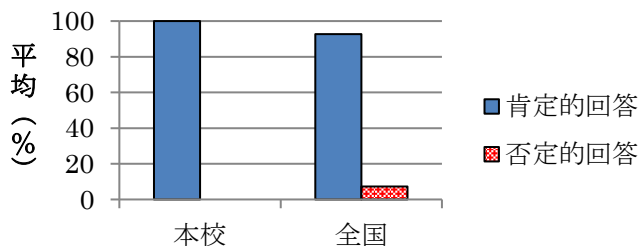
めざす子ども像の一つに「ちがいを認め合い、仲間を大切にする子」を掲げて、仲間づくりに取り組んでいます。困っているときは進んで助けると答えた児童の割合が高いのは、家庭と学校が協力して取り組んだ成果でもあります。今後も道徳教育など心を育てる教育の充実を図ります。

【読書は好き】



読書が好きという割合が高く出ています。これは、図書室を利用した読書指導や朝読等の取組み、図書委員会の活動、図書館司書や図書ボランティアの協力など様々な取組み成果であると思われます。今後も児童が本に親しむ機会を充実させ、進んで読書する子を育てます。

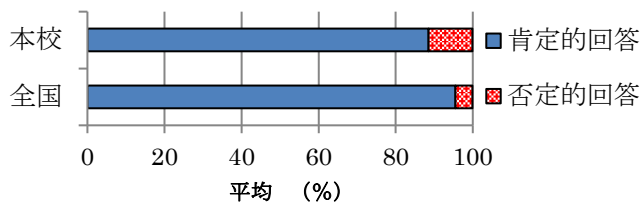
【友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる】



小グループで話し合ったり、学級全体で交流しあったりするなど、話し合い活動を授業の中に多く取り入れています。これは自分の思いを積極的に表現したり、自分の考えを深めたりするための大事な学習です。これからも相手の話を最後まで聞ける子を育てます。

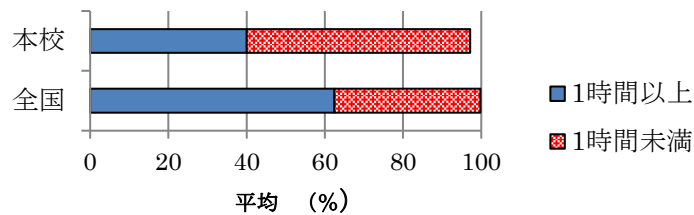
<課題として受け止めている事項>

朝食を毎日食べている



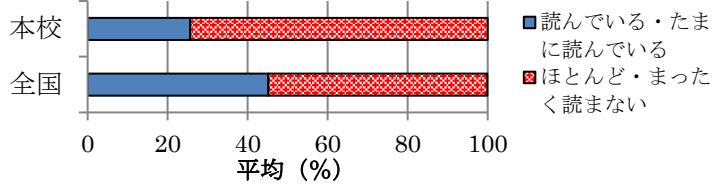
1割を超える児童が朝食をあまり食べていない、または全く食べていないと回答しています。朝食は児童の健全な成長のためにはとても大切であり、大きな課題であると考えています。

学校の授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



学校の授業以外の一日当たりの勉強時間が、全国に比べて少ない傾向があります。また、新聞を読む児童の割合も少ないという結果が出ています。宿題はきちんとできているのに宿題以外の自主的な学習はあまりできていないようです。また、新聞から学ぶ機会も少ないようです。自ら進んで学ぶ家庭学習の習慣化が課題となっています。

新聞を読んでいますか



<保護者・児童のみなさんへ>

<児童の皆さんへ>

皆さんは、学校の宿題や授業中の学習態度など、基本的なやるべきことはきちんとできています。また、友達の話や意見も最後まで聞き、友達を大切にしています。いじめはどんな理由があってもいけないというしっかりした考えも持っています。

これまでと同じように、しなければならないことはきちんとした上で、今後は宿題以外の家庭学習など、したほうがいいと思うことにもしっかり挑戦できる人になってください。

<保護者のみなさまへ>

本校の子どもたちは自尊感情が高く、将来の夢や希望をもっている子がたくさんいます。まじめな子どもが多く、課題に対しては頑張って取り組むことができます。これはご家庭でお子さまの頑張りを認め、ほめて育ててもらっている現れだと思います。今後、子どもたちが一層伸びてくれるよう、家庭学習にしっかり挑戦させてください。また、「早寝、早起き、朝ごはん」といった規則正しい生活にもご配慮いただき、子どもたちの心身ともに健康でたくましい成長を支援していただきますようご協力よろしくお願ひします。